

# 経 済 統 計 学 会

第67回（2023年度）

全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期 間：2023年9月7日（木）～9月8日（金）

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ

## 日 程

研究大会	9月7日（木）	9:20～17:30
	9月8日（金）	9:20～16:20
会員総会	9月7日（木）	14:10～15:00
懇親会	9月7日（木）	18:30～20:00
理事会	9月6日（水）	15:00～17:00

経済統計学会東北・関東支部  
2023年度全国研究大会実行委員会  
実行委員長 静岡大学 上藤 一郎

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

TEL 054-238-4551（研究室直通）

Email uwafuji.ichiro@shizuoka.ac.jp

9月7日（木）

9:20 受付開始（9階 909会議室）

9:50 開 会

9:50～11:50 セッションA：企画セッション（ジェンダー統計研究部会企画）

会場：9階 910会議室

### ジェンダー問題の統計分析

コーディネータ：杉橋 やよい（専修大学） 座長：橋本 貴彦（立命館大学）

1. 高橋 雅夫（長野大学）  
国勢調査にみる夫婦の年齢差の動向
2. 武内 真美子（愛知学院大学）  
クロスオーバー効果に着目した夫婦の学歴と健康行動および健康状態
3. 伊藤 陽一（東北・関東支部）  
国際的ジェンダー統計指数の検討と整理
4. 杉橋 やよい（専修大学）  
内閣府「ジェンダー統計の観点からの性別欄の基本的な考え方について」の検討

9:50～11:50 セッションB：企画セッション

会場：9階 904会議室

### 日本の統計史を考える I

コーディネータ：小林 良行（東北・関東支部） 座長：森 博美（東北・関東支部）

1. 上藤 一郎（静岡大学）  
統計学史の視点から見た幕末・明治初期の翻訳統計書
2. 廣嶋 清志（東北・関東支部）  
明治4年戸籍法の統計的画期性と「六ヶ年目」の改製
3. 佐藤 正広（東京外国語大学）  
台湾支配と国勢調査
4. 土居 英二（東北・関東支部）  
第二次世界大戦惨敗を予測した戦時下日本の産業連関分析

11:50～12:40 昼休み

12:40～14:10 セッションC：企画セッション（労働統計研究部会企画）

会場：9階 910会議室

### 労働・生活・福祉問題と統計 I

コーディネータ：水野谷 武志（北海学園大学） 座長：村上雅俊（阪南大学）

1. 水野谷 武志（北海学園大学）  
生活時間統計の国際比較
2. 宮寺 良光（岩手県立大学）  
コロナ禍で顕在化した生活問題に関する統計分析
3. 藤岡 光夫（東北・関東支部）  
SPA法による所得階級別長時間労働の長期比較分析－性・年齢・雇用形態・職業別－

12:40~14:10      セッションD：一般報告      会場：9階904会議室

**自由論題Ⅰ**

座長：高橋 将宜（長崎大学）

1. 赤木 芽（千葉商科大学）

産業連関における技術構造の代数的考察

2. 坂田 幸繁（中央大学）

調査票分割デザインによるサーベイの研究動向について

3. 高橋 将宜（長崎大学）

交絡因子と中間変数の要素が混在している説明変数の取り扱い方：多重代入法による解決策の提案

14:10~15:00      会員総会      会場：9階910会議室

15:00~16:00      特別講演      会場：9階910会議室

椿 広計（総務省統計委員会委員長）：第4期公的統計基本計画について

司会：櫻本 健（立教大学）

16:00~17:30      セッションE：一般報告      会場：9階910会議室

**自由論題Ⅱ**

座長：櫻本 健（立教大学）

1. 萩野 覚（総務省統計委員会担当室）

デジタルライゼーションの統計的把握

2. 藤原 彦次郎（総務省統計委員会担当室）

複数領域統合型世帯調査について

3. 高部 勲（立正大学）

公的統計の疑似的なマイクロデータの作成及び教育利用に関する研究

16:00~17:30      セッションF：企画セッション      会場：9階904会議室

**地域の諸課題と調査・統計分析**

コーディネータ：菊地 進（東北・関東支部）      座長：小林 良行（東北・関東支部）

1. 坂本 憲昭（法政大学）\*・森 博美（東北・関東支部）

大正時代における関西のドーナツ化現象について

2. 丸山 洋平（札幌市立大学）

秘匿される市町村別日本人移動数の推定と評価

3. 小巻 泰之（大阪経済大学）

市町村における定住・移住政策の定量的な把握の検討

（注）\*印は口頭発表者（以下同様）

18:30~20:00      懇親会（中島屋グランドホテル）

9月8日（金）

9:50～11:50 セッションG：企画セッション

会場：9階910会議室

**国民経済計算及び国際収支統計に関する諸問題**

コーディネータ：櫻本 健（立教大学） 座長：小川 雅弘（大阪経済大学）

1. 高山 和夫（福山大学）  
国民経済計算（SNA）におけるフランスの影響
2. 佐藤 嘉子（日本銀行）  
公的統計においてデジタル資産を反映する際の論点
3. 櫻本 健（立教大学）  
SNAにおけるデータとクラウドサービスの扱い
4. 則竹 悟宇（立教大学・院）  
製造委託の記録方法の変更がGDP統計に与える影響～日本の製造業の実証分析

9:50～11:50 セッションH：企画セッション

会場：9階904会議室

**日本の統計史を考えるⅡ**

コーディネータ：小林 良行（東北・関東支部） 座長：上藤 一郎（静岡大学）

1. 坂田 大輔（神奈川大学）  
公文書に基づく日本統計再建期の研究
2. 伊良皆 千夏（関東学園大学）  
日本復帰による琉球統計調査の再編
3. 山口 幸三（京都大学）  
労働力調査臨時調査の生成と変遷
4. 小林 良行（東北・関東支部）  
情報システムの導入がもたらした製表事務の変化

11:50～12:40 昼休み

12:40～14:40 セッションI：企画セッション

会場：9階910会議室

**社会科学としての統計学の現代的課題**

コーディネータ：池田 伸（立命館大学） 座長：上藤 一郎（静岡大学）

1. 池田 伸（立命館大学）  
社会科学としての統計学再訪－『統計学』創刊70周年事業に向けて
2. 鈴木 雄大（北海学園大学）  
生活扶助相当CPIの算出における指数算式の再検討
3. 田中 力（立命館大学）  
蜷川統計学における解析的集団分析の系譜－関弥三郎会員・田口時夫会員の所説の再評価
4. 伊藤 陽一（東北・関東支部）  
社会統計学の現代的課題－ジェンダー統計論と公的統計の基本原則・品質論から考える

予定討論者：金子 治平（大阪経済法科大学）

12:40~14:40 セッションJ：一般報告

会場：9階 904 会議室

### 自由論題Ⅲ

座長：坂田 大輔（神奈川大学）

1. LI Yapeng（立命館大学・院）

中国における出生率の規定要因の分析－経済的要因および心理的要因との関係を考慮して

2. 伊藤 伸介(中央大学)\*・出島 敬久（上智大学）・村田 磨理子（公益財団法人統計情報研究開発センター）

国勢調査マイクロデータを用いた外国人を含む夫婦の就業選択に関する計量分析

3. 新井 郁子（公益財団法人統計情報研究開発センター）\*・西内 亜紀（公益財団法人統計情報研究開発センター）・草薙 信照（大阪経済大学）

関西国際空港と中部国際空港が周辺地域に与えた影響－地域メッシュ統計による地価と人口・産業の分析－

4. 飯塚 信夫（神奈川大学）

コロナ禍における第3次産業活動指数の変動と基準改定の影響

14:50~16:20 セッションK：企画セッション（労働統計研究部会企画）

会場：9階 910 会議室

### 労働・生活・福祉問題と統計Ⅱ

コーディネータ・座長：水野谷 武志（北海学園大学）

1. 大澤 理沙（釧路公立大学）

介護保険制度が介護者の生活時間に与えた影響

2. 西本 真弓（阪南大学）

診療所による訪問診療や往診が在宅看取り数に与える影響

3. 村上 雅俊（阪南大学）

2017年『就業構造基本調査』匿名データを利用したワーキングプアの推計

14:50~16:20 セッションL：一般報告

会場：9階 904 会議室

### 自由論題Ⅳ

座長：鈴木 雄大（北海学園大学）

1. 橋本 貴彦（立命館大学）

日本における総労働配分の将来推計に関する研究

2. 張 南（広島修道大学）

The Impact of China-US Decoupling on the Global Economy and Its Countermeasures:  
Focus on the Global Flow of Funds

3. 泉 弘志（関西支部）\*・戴 艶娟（広東外語外資大学）・李 潔（埼玉大学）

国際産業連関表による投下労働量計算の3つの方法

16:20 閉 会

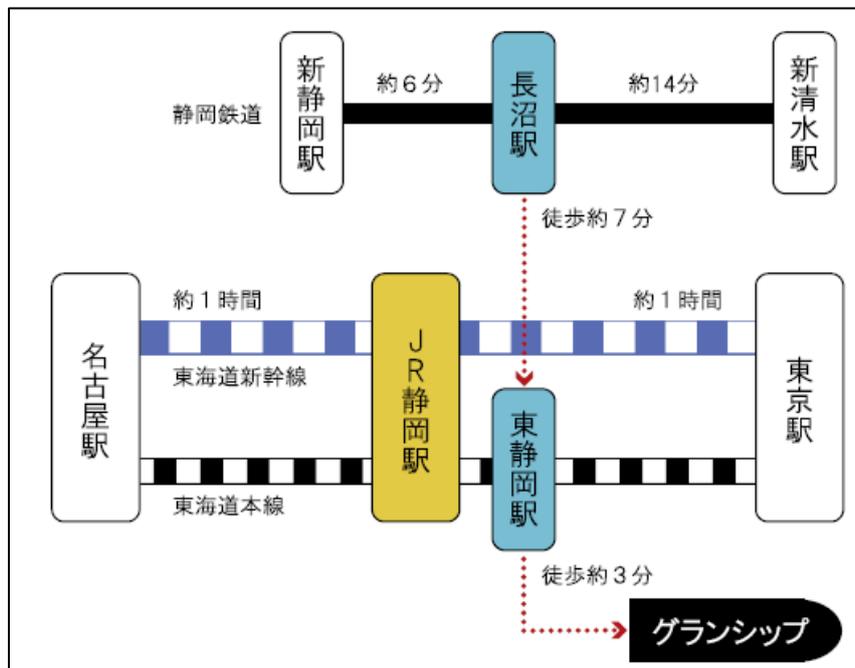
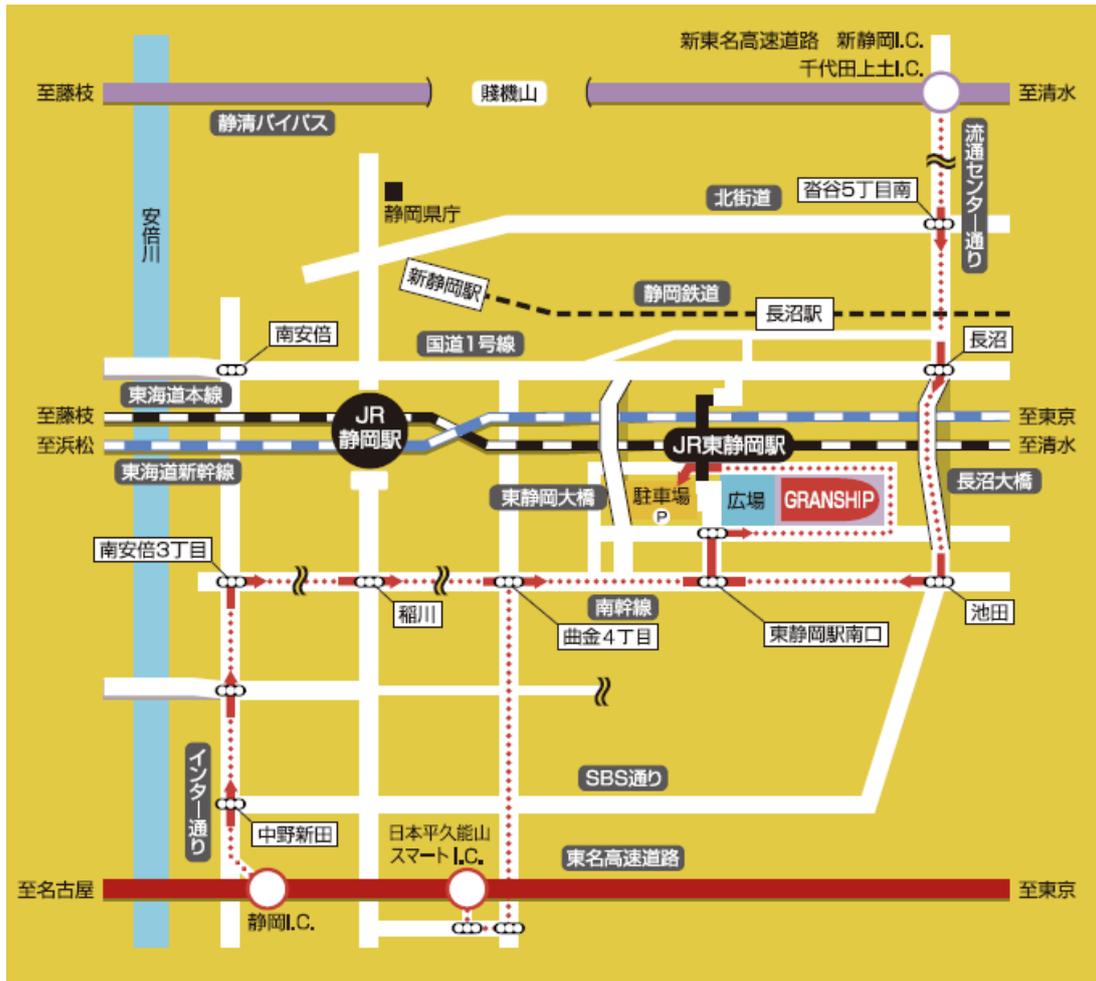
## お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会にかかわる同封の返信はがきは、8月4日（金）【必着】までに、ご返送願います。また理事の方は、理事会への出欠についても同様にご返事願います。
2. 研究大会の参加費（会場使用料・報告要旨集代金）は、一般会員2,000円、院生会員1,000円、非会員4,000円です。懇親会費は6,000円（院生会員3,000円）を別途いただきます。なお、懇親会費は、当日懇親会場（中島屋グランドホテル）でお支払いください。
3. 報告者の方は、すでに電子メールでお知らせした要領で「報告要旨集」の原稿の送付をお願いします（上藤宛 uwafuji.ichiro@shizuoka.ac.jp, 8月2日締切）。また報告要旨は学会ホームページで公開します（8月中旬以降）。経済統計学会ホームページ：<http://www.jsest.jp/>
4. 会場で配布する資料等の事前郵送を希望される方は、8月31日（木）【必着】までに、下記住所宛にご送付ください。なお配布資料を送付された方はメールでその旨上藤までご連絡ください。  
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836 静岡大学人文社会科学部 上藤一郎  
TEL：054-238-4551（研究室直通） E-mail：uwafuji.ichiro@shizuoka.ac.jp
5. 報告時間は1報告30分とします（質疑時間を含む）。企画セッションでは、報告時間の配分・運用が異なる場合がございます。詳しくは各セッションのコーディネータにご確認ください。会場ではPowerPoint（Office 2016）によるプレゼンテーションが可能です。セッション開始前に準備したPCにファイルをコピーしますので、報告者はファイルをUSBメモリ（事前にウイルス対策ソフトによるチェックを済ませておいてください）に入れ係員にお渡しください。
6. 大会受付・控室は9階909会議室です。大会参加に当っては、まず受付で参加費（会場使用料）をお支払いください。大会期間中の昼食については、会場内にあるレストランか会場近辺の飲食店（当日地図を配付します）などの利用をお願いします。
7. 理事会を下記の要領で開催します。  
日時： 9月6日（木）15:00～17:00  
場所： グランシップ（全国研究大会と同会場） 9階 901 会議室
8. 各委員会・研究部会の会合は、9月7日（木）昼休みまでに実施をお願いします。上藤まで事前にメールで時間・人数を連絡いただければ、部屋の調整をいたします。
9. グランシップへのアクセスは、次のページを参照してください。併せて会場となる9階フロア会議室についてもご確認ください。なお宿泊については各自で御手配ください（会場周辺は住宅地のため適当な宿泊施設はございません。JR 静岡駅周辺の宿泊施設をご利用ください）。
10. 大会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために万全の措置を講じることにしますが、皆様のご協力をお願いします。
11. 台風などの気象状況や新型コロナウイルス感染症拡大等のため、研究大会が対面で予定通り開催できない場合には、学会ホームページや会員メーリングリストなどにて本会の対応をお知らせします。また、プログラム発送後の研究大会にかかわる更新情報のお知らせも学会ホームページ等にて行いますので、随時ご確認ください。

### 経済統計学会 2023 年度全国研究大会プログラム委員

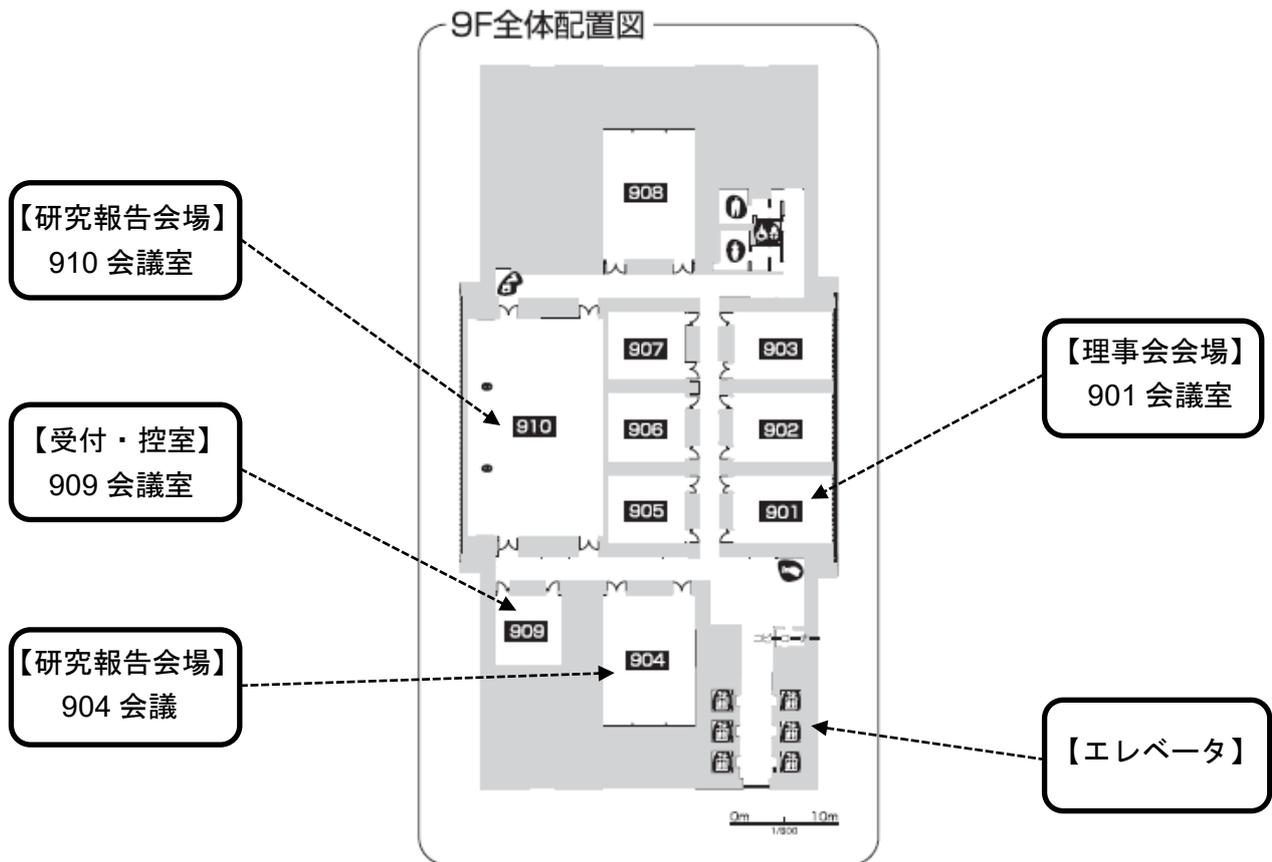
委員長	上藤 一郎（東北・関東支部）	
副委員長	櫻本 健（東北・関東支部）	
委員	鈴木 雄大（北海道支部）	藤井 輝明（関西支部）
	村上 雅俊（関西支部）	高橋 将宜（九州支部）

(1) 会場（グランシップ）案内図



- JR東静岡駅南口隣接
- 静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線（ひかり）で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。  
JR東静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- 車では東名高速道路静岡I.C.から20分、日本平久能山スマートI.C.から10分。  
新東名高速道路新静岡I.C.から15分。  
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分。

(2) グランシップ9階会議室



(3) 懇親会会場（中島屋グランドホテル）



〒420-0852  
 静岡市葵区紺屋町 3-10  
 TEL : 054-253-1151  
<https://www.sn-hotels.com/sgh/>

- ・ 懇親会費は当会場で徴収します。
- ・ 参加者には当日詳しい案内図を配布します。
- ・ JR 静岡駅徒歩 5 分です。